



システムの設定

この章では、Cisco MobilityManager のコール処理に関するパラメータを設定する方法を説明します。作業を開始する前に、次のトピックを参照してください。

- システム パラメータの設定 (P.3-2)
- データ同期のイネーブル化 (P.3-12)
- データベースのバックアップと復元 (P.3-13)
- ディレクトリ ユーザの設定 (P.3-14)

Cisco CallManager システムへのリンクの設定については、第 2 章「使用する前に」を参照してください。

システムパラメータの設定

Cisco MobilityManager には、モバイル接続、デスクの電話と携帯電話のルールおよびタイマー、JAVA Telephony Programming Interface (JTAPI) の設定、SNMP¹ と Mobile Voice Access の設定に関するシステムレベルのモビリティパラメータがあります。

システムパラメータの多くは、User Information ウィンドウでユーザに対して個別に設定することもできます。ユーザ個別の設定により、System Parameters ウィンドウで割り当てたシステムレベルの設定は無効になります。



(注)

基本的な Cisco MobilityManager 動作のためには、情報を入力したり、System Parameters ページのデフォルト設定を変更したりする必要はありません。目的の機能を有効にするため、または修正するために必要な場合にだけ設定を修正してください。

システムパラメータを設定するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 Cisco MobilityManager 管理ウィンドウから、**System > System Parameters** を選択します。

System Parameters Configuration ページが開きます。

ステップ 2 Cisco MobilityManager サービスが停止していて、サービスを再開する必要がある場合は、Restart Cisco MobilityManager ボタンを使用します。

ステップ 3 Gateway Early Media フィールドは、デフォルト設定の Yes のままにしておきます。このフィールドは、トラブルシューティングに使用されることがあります。

1. SNMP サポートには、SNMP バージョン 1、バージョン 2c、およびバージョン 3 が含まれます。これらは、アラームまたは syslog の複数の受信者、syslog リード/ライト (read/write) 属性の設定、定期アラームに関して使用されます。

- ステップ 4** 表 3-1 の説明に従って、Mobile Connect の設定を選択します。
- ステップ 5** Maximum Wait Time for Desktop Phone Pickup フィールドに、許容する最大遅延時間をミリ秒単位で入力します。ユーザはこの時間内にデスクの電話をピックアップする必要があります。指定した時間を超過すると、コールは切断されます。範囲は 5,000 ～ 60,000 ミリ秒で、デフォルトは 10,000 ミリ秒です。
- ステップ 6** 表 3-2 の説明に従って、携帯電話ピックアップの設定を選択します。
- ステップ 7** 表 3-3 の説明に従って、携帯電話タイマーの設定を選択します。
- ステップ 8** 表 3-4 の説明に従って、JTAPI の自動アップデートに関する設定を選択します。
- ステップ 9** SNMP Target IP Address フィールドに、SNMP トラップを受信するシステムの IP アドレスを入力します。
- ステップ 10** SNMP Target Port Number フィールドに、SNMP ポート番号を入力します。デフォルトポートは 162 です。
- ステップ 11** 表 3-5 の説明に従って、Mobile Voice Access の設定を選択します。
- ステップ 12** 表 3-6 の説明に従って、Cisco CallManager AXL サーバの設定を入力します。
- ステップ 13** Save をクリックします。

関連項目

- [Mobile Connect の設定 \(P.3-4\)](#)
- [携帯電話ピックアップの設定 \(P.3-5\)](#)
- [携帯電話タイマーの設定 \(P.3-6\)](#)
- [JTAPI ファイルの自動アップデートに関する設定 \(P.3-7\)](#)
- [Mobile Voice Access の設定 \(P.3-9\)](#)
- [Cisco CallManager AXL サーバの設定 \(P.3-10\)](#)

Mobile Connect の設定

表 3-1 では、System Parameters ウィンドウで設定できる Mobile Connect の設定について説明します。

表 3-1 Mobile Connect の設定

フィールド	説明
Enable Caller ID Override	コール発信者の番号以外の番号を発信者番号ディスプレイに表示する場合は、 Yes を選択します。コール発信者の番号を表示する場合は、 No を選択します。デフォルトは No です。
Caller ID Override Number	発信者番号として表示する電話番号を入力します。フィールドには 20 文字まで入力できます。各文字には、0～9 または A～D の値を使用できます。フィールドをブランクにすると、発信者番号がないことがディスプレイに示されます。 Enable Caller ID Override がディセーブルの場合、このフィールドは使用不可になっています。
Enable Mobile Connect Feature	Mobile Connect 機能を有効にするには、 Yes を選択します。 No を選択すると、このウィンドウのその他のフィールドは無視されます。デフォルトは Yes です。
Enable Delay Before Ringing Cellular Phone	着信コールを受信したとき、遅延時間を置いてからリモート デバイス（携帯電話）の呼び出し音を鳴らすには、 Yes を選択します。遅延時間を設定することにより、デスクの電話は、着信コールを受信するための優先順位ステータスを維持します。遅延時間を設定しない場合は、 No を選択します。デフォルトは、システム レベルのデフォルトです。
Delay Before Ringing Cellular Phone	Enable Delay Before Ringing Cellular Phone フィールドで Yes を選択した場合に、遅延時間を入力します。範囲は 1,000 ～ 300,000 ミリ秒で、デフォルトは 10,000 ミリ秒です。

関連項目

- 携帯電話ピックアップの設定 (P.3-5)
- 携帯電話タイマーの設定 (P.3-6)
- JTAPI ファイルの自動アップデートに関する設定 (P.3-7)
- Mobile Voice Access の設定 (P.3-9)
- Cisco CallManager AXL サーバの設定 (P.3-10)

携帯電話ピックアップの設定

表 3-2 では、携帯電話ピックアップの設定について説明します。これらの設定により、着信コールがあったときの携帯電話のピックアップに関するルールが指定されます。

表 3-2 携帯電話ピックアップの設定

フィールド	説明
Enable Cellular Phone Pickup	コール進行中にデスクの電話からリモートの内線電話 (携帯電話) にコールを切り替えることを許可するには、 Yes を選択します。デフォルトは No です。
Enable Maximum Cellular Phone Pickup Timer	コールがデスク電話から切り替えられてから携帯電話が応答するまでの最大待機時間を設定するには、 Yes を選択します。デフォルトは No です。
Maximum Wait Time for Cellular Phone Pickup (msec)	Enable for Maximum Wait Time for Cellular Phone Pickup で Yes を選択した場合に、コールがデスクの電話から切り替えられてから携帯電話がピックアップされるまでの最大許容時間をミリ秒単位で入力します。指定した時間内にリモート デバイスが応答しない場合は、コールが切断されます。範囲は 1,000 ~ 300,000 ミリ秒で、デフォルトは 20,000 ミリ秒です。

関連項目

- [Mobile Connect の設定 \(P.3-4\)](#)
- [携帯電話タイマーの設定 \(P.3-6\)](#)
- [JTAPI ファイルの自動アップデートに関する設定 \(P.3-7\)](#)
- [Mobile Voice Access の設定 \(P.3-9\)](#)
- [Cisco CallManager AXL サーバの設定 \(P.3-10\)](#)

携帯電話タイマーの設定

表 3-3 では、携帯電話ピックアップの呼び出しとタイミングを制御する携帯電話タイマーの設定について説明します。

表 3-3 携帯電話タイマーの設定

フィールド	説明
Enable Maximum Cellular Phone Ring Timer	デスクの電話から携帯電話に切り替えられるコールに対するタイミング インターバルを設定するには、 Yes を選択します。デフォルトは No です。
Maximum Cellular Phone Ring Timer	Enable Maximum Cellular Phone Ring Timer で Yes を選択した場合に、携帯電話の呼び出し音が鳴ってから携帯電話が切断されるまでの最大時間を入力します。この値は、Delay Before Ringing Cellular Phone フィールドで指定した間隔が終了した時点から測定されます (P.2-22 の表 2-1 を参照)。範囲は 10,000 ~ 300,000 ミリ秒で、デフォルトは 19,000 ミリ秒です。 このタイマーには、Cisco CallManager で当該回線に対して設定されている No Answer Ring Duration タイマーより小さい値を設定する必要があります。詳細については、『 <i>Cisco CallManager Administration Guide</i> 』を参照してください。

表 3-3 携帯電話タイマーの設定 (続き)

フィールド	説明
Enable Minimum Cellular Phone Ring Timer	着信コールがあったとき、およびデスクの電話から携帯電話に切り替えられたときに携帯電話の呼び出し音を鳴らす最小タイミングを設定するには、 Yes を選択します。デフォルトは Yes です。
Minimum Cellular Phone Ring Timer	Minimum Cellular Phone Ring Time で Yes を選択した場合に、携帯電話での応答が可能になるまでの最小時間を入力します。この時間が経過する前に携帯電話で応答しようとする、コールはドロップされます (携帯電話のボイスメールがコールをピックアップしたと見なされます)。範囲は 1,000 ~ 10,000 ミリ秒で、デフォルトは 3,000 ミリ秒です。

関連項目

- [Mobile Connect の設定 \(P.3-4\)](#)
- [携帯電話ピックアップの設定 \(P.3-5\)](#)
- [JTAPI ファイルの自動アップデートに関する設定 \(P.3-7\)](#)
- [Mobile Voice Access の設定 \(P.3-9\)](#)
- [Cisco CallManager AXL サーバの設定 \(P.3-10\)](#)

JTAPI ファイルの自動アップデートに関する設定

表 3-4 では、JTAPI ファイルの自動アップデートに関する設定について説明します。これらの設定により、Cisco MobilityManager と Cisco CallManager の通信に使用される JTAPI のアップデートが制御されます。JTAPI ファイルの設定を使用して、JTAPI バージョンの自動同期を設定します。自動アップデートをイネーブルにすると、JTAPI のバージョンが自動的にアップデートされ、Cisco CallManager のものと同じバージョンになります。

Cisco CallManager 4.1.3 の jtapi.jar ファイルは、Cisco MobilityManager ソフトウェア ディストリビューションに組み込まれています。別のバージョンの Cisco CallManager を使用している場合は、この項の説明に従って JTAPI ファイルを設定する必要があります。



(注) JTAPI 自動アップデートを有効にするには、Cisco MobilityManager を再起動する必要があります。

表 3-4 JTAPI ファイルの自動アップデートに関する設定

フィールド	説明
Enable Auto Update JTAPI file	JAVA テレフォニーの設定の自動アップデートをイネーブルにするには、 Yes を選択します。デフォルトは No です。
Always Update JTAPI File	Cisco MobilityManager が再起動するたびに JTAPI ファイルがアップデートされるようにするには、 Yes を選択します。デフォルトは No です。
Auto Update JTAPI Server Name or IP Address	JTAPI ファイルの自動アップデートに対して Yes を選択した場合に、自動アップデートを提供するサーバの名前または IP アドレスを入力します。デフォルトはありません。
Use Secured Auto JTAPI Update	自動 JTAPI アップデートにセキュリティを追加するには、 Yes を選択します。デフォルトは Yes です。
Auto Update JTAPI Server Path	JTAPI サーバの絶対パスまたは URL を入力します。デフォルトのパスは、 <code>http://<Cisco CallManagerserver>/CCMPluginsServer</code> です。 デフォルトのパスを使用する場合は、このフィールドには何も入力する必要はありません。
Auto Update JTAPI Server File Name	サーバ上の自動アップデート ファイルの名前を入力します。デフォルトは <code>jtapi.jar</code> です。デフォルトのファイルを使用する場合は、このフィールドには何も入力する必要はありません。
Auto Update JTAPI Local File Name	ローカルの自動アップデート ファイルの名前を入力します。デフォルトは <code>jtapi.jar</code> です。デフォルトのファイルを使用する場合は、このフィールドには何も入力する必要はありません。

関連項目

- [Mobile Connect の設定 \(P.3-4\)](#)
- [携帯電話ピックアップの設定 \(P.3-5\)](#)
- [携帯電話タイマーの設定 \(P.3-6\)](#)
- [Mobile Voice Access の設定 \(P.3-9\)](#)
- [Cisco CallManager AXL サーバの設定 \(P.3-10\)](#)

Mobile Voice Access の設定

表 3-5 では、Mobile Voice Access の設定について説明します。

表 3-5 Mobile Voice Access の設定


フィールド	説明
Mobile Voice Access Numbers	Mobile Voice Access 用の電話番号を入力します。フィールドには 200 文字まで入力できます。各文字には、0 ~ 9 または A ~ D を使用できます。複数の番号を入力するには、カンマを使用します。
Mobile Voice Access User Lock Out Timer (min)	ユーザが 3 回連続で正しくない入力をした後、Mobile Voice Access の使用を禁止される時間の長さを分単位で入力します。これは、正しくない PIN またはリモート宛先の入力に適用されます。範囲は 0 ~ 1,440 分で、デフォルトは 15 分です。
Enable System Remote Access	システム リモート アクセス機能をイネーブルにするには yes を、ディセーブルにするには no を選択します。
	 <p>(注) 各ユーザがシステム リモート アクセスを利用できるためには、このフィールドに yes を設定し、Cisco Mobile Connect User Configuration ウィンドウの Enable User Remote Access フィールドにもユーザごとに yes を設定する必要があります。P.2-14 の「新しいユーザ アカウントの追加」 を参照してください。</p>

表 3-5 Mobile Voice Access の設定 (続き)

フィールド	説明
System Remote Access Blocked Numbers	Mobile Voice Access を使用するコールを禁止するユーザの電話番号を入力します。フィールドには 200 文字まで入力できます。各文字には、0～9 または A～D を使用できます。複数の番号を入力するには、カンマを使用します。
System Remote Access Call Take Back Timer (sec)	Mobile Voice Access セッションがタイムアウトになるまでの秒数を入力します。範囲は 120～180 秒で、デフォルトは 120 秒です。

関連項目

- [Mobile Connect の設定 \(P.3-4\)](#)
- [携帯電話ピックアップの設定 \(P.3-5\)](#)
- [携帯電話タイマーの設定 \(P.3-6\)](#)
- [JTAPI ファイルの自動アップデートに関する設定 \(P.3-7\)](#)
- [Cisco CallManager AXL サーバの設定 \(P.3-10\)](#)

Cisco CallManager AXL サーバの設定

表 3-6 では、Cisco CallManager との通信に必要な Cisco CallManager AXL サーバの設定について説明します。

表 3-6 Cisco CallManager AXL サーバの設定

フィールド	説明
Cisco CallManager Version	Cisco CallManager のソフトウェア バージョン番号を入力します。例：4.1
Cisco CallManager AXL Server Name or IP Address	Cisco CallManager AXL サーバのホスト名または IP アドレスを入力します。

表 3-6 Cisco CallManager AXL サーバの設定 (続き)

フィールド	説明
Cisco CallManager AXL User Name	Cisco CallManager AXL サーバへの管理者アクセス用のユーザ名を入力します。
Cisco CallManager AXL User Password	Cisco CallManager AXL サーバへの管理者アクセス用のパスワードを入力します。

関連項目

- [Mobile Connect の設定 \(P.3-4\)](#)
- [携帯電話ピックアップの設定 \(P.3-5\)](#)
- [携帯電話タイマーの設定 \(P.3-6\)](#)
- [JTAPI ファイルの自動アップデートに関する設定 \(P.3-7\)](#)
- [Mobile Voice Access の設定 \(P.3-9\)](#)

データ同期のイネーブル化

MobilityManager データベースを現在のランタイム メモリと同期するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 **System > Data Synchronization** を選択します。

ステップ 2 **Start Now** をクリックします。

ステップ 3 **OK** をクリックして、データの同期を開始することを確定します。

関連項目

- [システム パラメータの設定 \(P.3-2\)](#)
- [データベースのバックアップと復元 \(P.3-13\)](#)

データベースのバックアップと復元

SFTP サーバを使用して、Cisco MobilityManager のリモート システム情報のバックアップと復元を行うことができます。

バックアップと復元のパラメータを設定するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 **System > Backup and Restore** を選択します。

Backup and Restore 画面が開きます。

ステップ 2 Host Name or IP Address フィールドに、バックアップ サーバを識別するための適切な情報を入力します。

ステップ 3 バックアップ サーバ用のユーザ ID とパスワードを入力します。

ステップ 4 パスワードを Confirm Password フィールドに再入力します。

ステップ 5 File Path フィールドに、バックアップ ファイルを保存または取得する場所を入力します。

ステップ 6 **Start Backup Now** をクリックして、指定した場所へのデータベースのバックアップを開始するか、**Start Restore Now** をクリックして、指定したファイルからの復元を開始します。

ステップ 7 リモート システム情報を復元したら、[P.3-12](#) の「**データ同期のイネーブル化**」の手順に従ってデータの同期を実行します。

関連項目

- [システム パラメータの設定 \(P.3-2\)](#)
- [データ同期のイネーブル化 \(P.3-12\)](#)

ディレクトリ ユーザの設定

ディレクトリ ユーザの設定は、Cisco CallManager が使用するディレクトリ サーバとの接続に必要です。接続が機能するには、ディレクトリ サービスが設定されている Cisco CallManager と同じディレクトリ ユーザの設定を Cisco MobilityManager に行う必要があります。設定が正しく行われていないと、ユーザは User ページへのログインやプロフィールの変更を行うことができません。ディレクトリ サービス情報は、DirectorySevices.ini ファイルに保存されています。このファイルは、Cisco CallManager c\$\dcdsrvr ディレクトリにあります。



(注)

ご使用の Cisco CallManager が Active Directory または Netscape ディレクトリを使用している場合は、『Cisco Customer Directory Configuration Plugin Guide for Cisco CallManager』を参照してください。DirectoryConfiguration.ini ファイルは、Directory User Settings ページが設定された後に作成されます。このファイルは、Call Manger \dcdsrvr ディレクトリ内のファイルと同じものになります。

ディレクトリ ユーザの設定を行うには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ 1 **System > Directory User Settings** を選択します。
- ステップ 2 表 3-7 に従って、Cisco CallManager に設定されているものと同じ値をこのウィンドウの各フィールドに入力します。
- ステップ 3 **Save** をクリックします。

表 3-7 ディレクトリ ユーザの設定

フィールド	説明
Directory Administrator Host Name or IP Address	ディレクトリ サービスのホスト名または IP アドレスを入力します。
Directory Administrator Host Port Number	DirectoryConfiguration.ini ファイルで設定されているポート番号を入力します。 例：Cisco CallManager で Data Connection Directory (DC-Directory) を使用している場合は、 8404 と入力します。
Directory Administrator DN	DirectoryConfiguration.ini ファイルで設定されている管理者ログイン用のディレクトリ番号を入力します。 例：Cisco CallManager で Data Connection Directory (DC-Directory) を使用している場合は、 cn=Directory Manager, o=cisco.com と入力します。
Directory Administrator Password	ディレクトリ サービスへのログインに使用されるパスワードを入力します。
Confirm Directory Administrator Password	ディレクトリ サービスへのログインに使用されるパスワードを再入力します。
Cisco Directory Administrator DN	DirectoryConfiguration.ini ファイルで設定されているディレクトリ管理者の番号を入力します。 例：Cisco CallManager で Data Connection Directory (DC-Directory) を使用している場合は、 o=cisco.com と入力します。
Directory Type	DirectoryConfiguration.ini ファイルで設定されているとおりに、Default、ADS、または NDS を入力します。

関連項目

- [Cisco MobilityManager 管理へのアクセス \(P.2-2\)](#)
- [CallManager のリンクの設定 \(P.2-4\)](#)

■ ディレクトリ ユーザの設定